

## 長周期地震動に対応した防災気象情報の強化について

令和5年2月1日から、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加するとともに、長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化します。

長周期地震動とは、大きな地震で生じる、ゆっくりとした大きな揺れ（周期が長い揺れ）のことをいいます。高層ビルなどでは長周期地震動により大きく長時間揺れ続けることがあります。このたび、長周期地震動による被害の軽減に資するため、令和5年2月1日(水)から、以下の防災気象情報の強化を行います（詳細は別紙参照）。

### 1. 緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級を追加

長周期地震動による被害の可能性がある場合も緊急地震速報を発表するよう、予想される長周期地震動階級を、緊急地震速報の発表基準に新たに追加します(※)。長周期地震動階級の基準による緊急地震速報が発表されても、伝え方や見聞きした際にとるべき行動は変わりませんので、慌てずに身の安全を守ってください。

高層ビル等に関係される方々は、大きな地震で発生する長周期地震動への備えのため、11月2日(水)に実施予定の全国的な緊急地震速報の訓練の機会等を捉えて、訓練実施等をご検討ください。

(※)緊急地震速報の発表基準の変更について

[https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/lpgm\\_start/lpgm\\_start.html](https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/lpgm_start/lpgm_start.html)

### 2. 長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化

現在、地震発生から20～30分程度を要している長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化し、地震発生から10分程度で発表します。高層階での被害の可能性を把握するなど、様々な防災対応へご活用ください。

防災気象情報の強化に向け、気象庁HPの長周期地震動のページを順次リニューアルし、より分かりやすく紹介していきますので、是非ご参照ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/choshuki/index.html>

問合せ先：地震火山部地震津波監視課 地震津波防災推進室 担当 古謝、町頭  
電話 03-6758-3900（内線 5157、5158）



震度で表せない長周期地震動による揺れに対する指標として、平成25年3月に長周期地震動階級を定めました。

長周期地震動階級3～4の揺れでは、家具の転倒・移動により大きな被害が発生するおそれがあることなどから、緊急地震速報の基準に加えることにしています。

<h2>階級1</h2> <ul style="list-style-type: none"><li>●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。</li><li>●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。</li></ul> 	<h2>階級2</h2> <ul style="list-style-type: none"><li>●室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。</li><li>●キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。</li></ul> 
<h2>階級3</h2> <ul style="list-style-type: none"><li>●立っていることが困難になる。</li><li>●キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li></ul> 	<h2>階級4</h2> <ul style="list-style-type: none"><li>●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。</li><li>●キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。</li></ul> 